

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(1)年度 知的障害のある高校生による学校HP更新の試みとその評価
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	「高等部トピックスを更新しよう」
	授業の目標	ねらい: 経験したことや興味関心、その月のテーマなどを元に学校HP高等部トピックスの記事、学校だよりの記事を作成する。 目標: 話し合いにより、役割分担や月の記事の内容を決める。 目標: パソコンやタブレット、デジタルカメラなどの基本的な操作を覚え、期限を守って記事を作成する。
	学力の3要素	■「知識及び技能」 ■「思考力・判断力・表現力等」 ■「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (1)年(2)人、(2)年(3)人、(3)年(2)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input checked="" type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 一人一人個別に対応すれば、実際に経験した内容やその時に印象に残ったことを簡単な言葉で記すことができる。グループの話し合いになると、自分から気持ちや意見を言い出すことは難しい。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(■A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 ■B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 ■C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) スマイルノート: 写真やテキスト(ローマ字打ち、ひらがなキーボード、手書き文字)、イラストなどを入れることができるプレゼンテーションソフトを用いることで、この実態に応じた「表現」をスライドにすることができると考えた。また、写真、文字、イラストなど様々な表現方法を使え、それを目の前ですぐにスライドとしてまとめることができるため、話し合いの際にことばだけでなく「自分の意見」を表すことができると考えた。 CMSによる更新: その場で、すぐに更新を終え、その結果を示すことで、達成感を味わわせることができると考えた。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	MacBookAir13inch、webブラウザ、ワープロソフト、iPad mini、SmileNote (UNITY-INC開発のiOSアプリ) 
授業展開	授業展開・支援の手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・更新内容について意見を出す。 ・小グループ、または、個人個人で担当を決める。 ・題材になった行事の説明や思い出などを教師や友達と相談して記入する、校内サーバーなどから写真を選んで挿入する。 ・スライドをスクリーンショットに取り、教師のPCに転送する。 ・教師のPCを使い、CMSを利用して更新を行う (PCを使った更新担当もあらかじめ決めておく)。 
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	今回のHPトピックス更新で用いた方法は、タブレット端末などを使い慣れている生徒にとっては、有効に機能した。また、出来上がったHPに関して行った保護者アンケートでは、一定の評価を得ることができた。一方で閲覧する人によって求める情報が異なること、閲覧環境の違い(スマートフォン、PC、タブレットなど)により見にくさがあること、知的障害の有無に関わらず質の高いコンテンツを作成する必要性等が指摘された。今後も生徒による更新を継続していくため、「障害の実態」や「ICT機器操作スキル」に関わらず多くの生徒が関われる更新方法の工夫(手書き原稿のPDF化など)を行うとともに、生徒専用ページの立ち上げなどコンテンツと掲載内容の整理などが課題として考えられる。